



2018年9月18日

「JFS-A/B 規格適合証明プログラムサービス」の提供開始

食品衛生法等改正により導入された HACCP 制度化に対応

SOMPOリスクアマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）は、2018年8月14日付で一般財団法人食品安全マネジメント協会（以下「JFSM」）^(*1) から損害保険業界で初めて JFS-A/B 規格^(*2) 監査及び適合証明プログラムに基づく監査会社として認定を取得し、9月26日から、食品関係事業者を対象に、「JFS-A/B 規格適合証明プログラムサービス」（以下「本サービス」）の提供を開始します。

*1 日本発の食品安全マネジメント規格・認証スキームの構築・運営をすることを目的に2016年1月に設立された団体です。

*2 JFSM が作成した民間認証規格です。JFS-A 規格は、施設設備の衛生管理等の一般的衛生管理の要求事項を中心とした内容となっています。JFS-B 規格は、一般的衛生管理を中心とした JFS-A 規格の要求事項に加え、HACCP（以下「*4」ご参照）の要求事項をすべて含んでいるとともに、2000年にグローバルに展開する小売業者・食品製造事業者等が集まり食品安全の向上と消費者の信頼強化に向けて発足した団体である「Global Food Safety Initiative」（以下「GFSI」）が小規模及び発展途中の事業者向けに発行した食品安全の能力を構築するためのプログラム（グローバルマーケットプログラム）にも合致した内容になっています。

1. 背景

食品関係事業者には食のグローバル化に対応するために国際標準に即した衛生管理が求められています。一方、日本では消費者の安全・安心に対する意識が年々高まっているにもかかわらず食中毒患者数の推移は約2万人で下げ止まっており^(*3)、また腸管出血性大腸菌0157等による広域的な食中毒事案も散発しています。

こうした社会課題に対応するために、2018年6月13日に「食品衛生法等の一部を改正する法律」（以下「改正法」）が公布されました。改正法では原則としてすべての食品関係事業者に HACCP⁽⁴⁾ に沿った衛生管理の実施を求めるとともに（HACCP 制度化）等が盛り込まれています。近年は、商取引に活用できる民間認証の取得を検討する食品関係事業者が増えており、特に JFS-A/B 規格への関心が高まっています。

SOMPOリスクアは HACCP 認証取得支援等のコンサルティング・サービスを提供しており、こうした背景の下、JFS-A/B 規格監査及び適合証明プログラムに基づく監査会社として認定を取得し、本サービスの提供を開始することとしました。

*3 厚生労働省 食品衛生法等の一部を改正する法律の概要「改正の背景・趣旨」

(<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisaku-jouhou-11130500-Shokuhinanzanbu/0000211248.pdf>)

*4 Hazard Analysis Critical Control Point の略。原材料の受入れから最終製品までの工程ごとに、微生物による汚染、金属片の混入等の危害要因を分析（HA）した上で、危害の防止につながる特に重要な工程（CCP）を継続的に監視・記録する工程管理システムで、日本では、地方自治体、民間審査機関、業界団体等による第三者認証制度があります。

2. 本サービスの概要

JFS-A/B 規格及び食品安全・食品衛生の知見を有する SOMPOリスクアの専門コンサルタントが、JFS-A/B 規格適合証明、JFS-A/B 規格構築支援をします。

(1) 内容（メニュー）（詳細は＜別紙＞をご参照ください。）

- ① JFS-A/B 規格適合証明
- ② JFS-A/B 規格構築支援

(2) 特徴

- ① 食品関係事業者の食品安全管理のレベルを踏まえサポートします。
- ② 食品安全管理の国際規格（JFS-C 規格^(*5)等）の認証取得も視野に入れた支援をします。
- ③ JFS-A/B 規格への適合証明監査に加えて食品安全管理に係る改善のための助言もします。

*5 JFS-A 規格及び JFS-B 規格の要求事項に加え、一般衛生管理と HACCP を PDCA サイクルで動かす仕組みである食品安全マネジメントシステムが強化されているとともに、GFSI が作成した食品安全要求事項と管理に関するガイダンス（GFSI ガイダンス・ドキュメント）で求められている項目をすべて含んだ内容になっています。

3. 受注目標

年間 10 件、1,000 万円の受注を目指します。

4. 今後の展開

SOMPO リスクアは、本サービスを通じて、食品製造事業者を中心に食品安全に関する法規制対応及び第三者認証取得を支援し、食品関係事業者の皆さまの品質保証活動に貢献してまいります。

SOMPO リスクアマネジメントについて

SOMPO リスクアマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とする SOMPO ホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「ヘルスケア事業」「サイバーセキュリティ事業」を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、健康経営推進支援、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策、サイバー攻撃対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPO リスクアマネジメント株式会社 リスクマネジメント事業本部
危機管理コンサルティング部 [担当：佐川、山本、五木田]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-4303（直通）

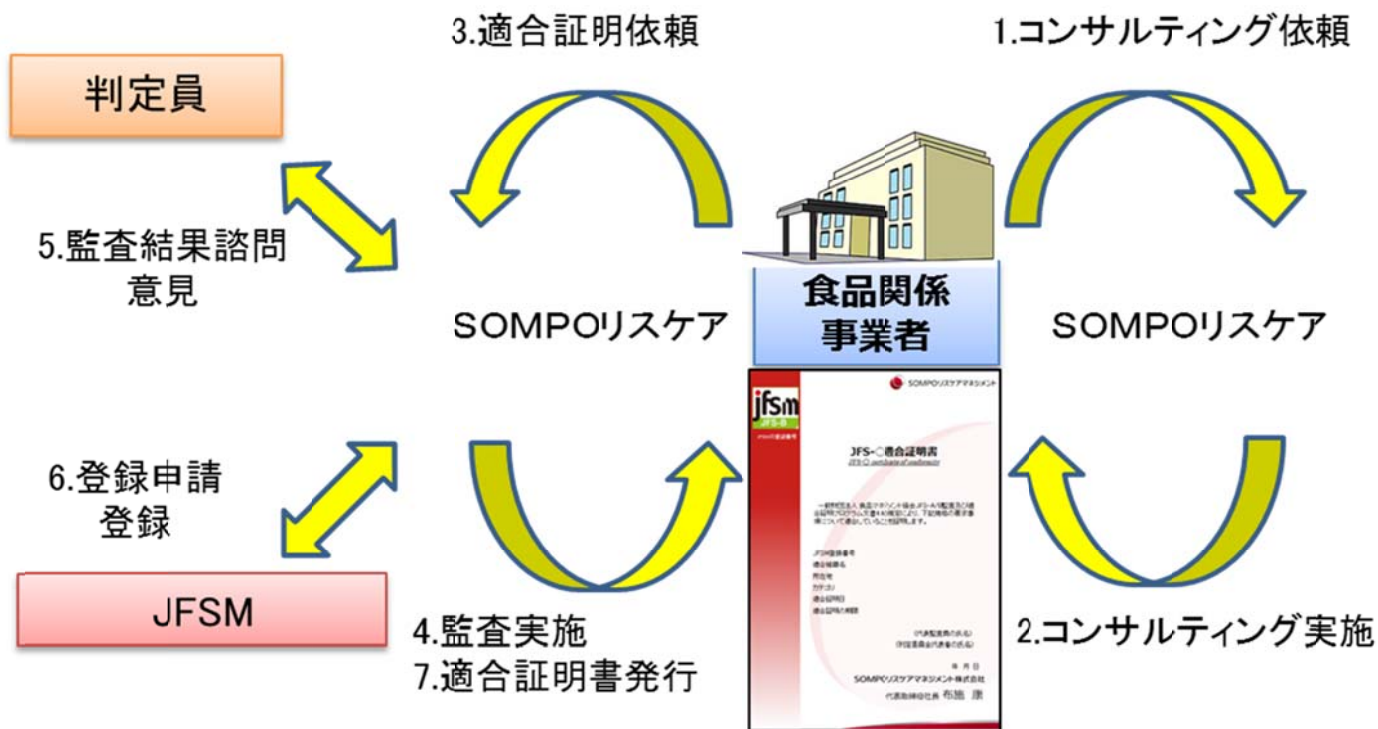
報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPO リスクアマネジメント株式会社
経営企画部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5468（直通）

以上

<別紙>本サービスのメニューの詳細

メニュー	内容
① JFS-A/B 規格適合証明	JFS-A/B 監査及び適合証明プログラム文書に従って、食品関係事業者が JFS-A/B 規格で要求される事項を満たした食品安全管理の取組みを実施していることを監査員が監査します。監査結果については監査員以外の判定員がその妥当性を判定します。判定員が「適合」と判定した時は、適合証明書を発行します（適合証明書発行後も毎年定期監査します）。 （監査会社は、監査とは別の日時で、コンサルティング（構築支援）をすることができます。ただし、ある組織に対してコンサルティング（構築支援）をした者が監査員又は判定員として同じ組織の監査又は監査の判定をしないことにより、独立性が担保されています。）
② JFS-A/B 規格構築支援	食品関係事業者に対し、JFS-A/B 規格への適合証明がされる水準になるように、製造現場の確認・助言、規定類、記録類の作成・整備等のコンサルティング（構築支援）をします。最大 12 回で JFS-A/B 規格に適合証明がされる水準になることを目指します。 （依頼企業の現状の水準により訪問回数は異なります。）



（コンサルティング依頼・実施は任意です。）

図 JFS-A/B の構築支援及び適合証明の流れ